

懐かしい里山風景を訪ねて

心が癒されるような、どこか懐かしい里山・里海風景を訪ねる1日旅。
自然と人との関わりやそれぞれの場所の特徴なども毎回お話しします。

同行講師：森のなりわい研究所代表・伊藤 栄一

【行先と日程（予定）】

- ◆第1回 9月29日 山之村（飛騨市神岡町）
- ◆第2回 10月27日 須賀利（尾鷲市）
- ◆第3回 11月24日 白王・円山（近江八幡市）

参加ご希望の方は……

電話またはfaxで(052・684・5894)ご予約の上
受講料は当日ご持参下さい。

※受講キャンセル料：前日2500円、当日50%申し受けます。

いずれも木曜日・地下鉄本郷駅発着・貸切バス利用

受講料：各回 13,000 円（昼食付き）

【山之村】

北アルプスのふもとにある七つの峠に囲まれた標高約 1000mの天空の里。「山之村」とは7つの集落計70戸をまとめた通称名です。通称名は地図に記載されないの「地図に無い村」とも言われます。

昔ながらの茅葺屋根の民家、そしてどの家にも全面が板造りの伝統的な倉庫「板倉（いたくら）」があり農山村の原風景を色濃く残しています。

里は盆地で、昼夜の寒暖の差が非常に激しく、真夏でも夜は囲炉裏に火が欠かせません。冬季は寒干しだいこん作りに力を入れています。

【須賀利】

尾鷲湾北部に位置し隣接する紀北町を挟んで飛び地になっている地域です。深い湾の奥になっているので江戸時代は往来する廻船の風待ち港として栄えました。現在でも瓦屋根の古い民家約 200 戸が海から山へびっしり張り付く昔ながらの漁村の姿が残っており、その風景は壮観です

【白王・円山】

琵琶湖東岸・近江八幡市の北部に位置する白王町には、内湖の一つでラムサール条約登録湿地でもある「西の湖」が残り、今では日本で唯一とされる湖中の水田”権座（ごんざ）”も健在です。ヨシ原の広がる水辺の集落や里山のたたずまいが「湖国の原風景」を思わせる場所です。

☆各コースの距離は約 5～6km、標高差は100m程度です。ご予約の方にはあらためて催行日 1 週間前に日程表を郵送いたします。



お申し込み・お問い合わせは



創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄 2-6-13

Tel/Fax 052-684-5894 (担当直通 090-1823-7977)

Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL: http://s-sophy.com

創企舎ソフィ

検索

☆創企舎ソフィでは現地講座催行に際して旅行保険に加入、一定の範囲内で補償の用意をしております。